



近畿自然歩道 33 熊野那智大社を訪ねるみち

くまのなちだいしや



1 なちのおおたき 那智大滝
落差133mの日本一の直瀑で、一般に「那智の滝」と呼ばれる。那智大社は本来、この滝を神とする自然信仰から起こったといわれ、今日でも神聖視されている。



2 ひろうじんじや 飛瀧神社
那智大社の別宮であり、那智大滝自体を神体としているため社殿は存在しない。鳥居をくぐると境内となり、直接滝を拝むこととなる。



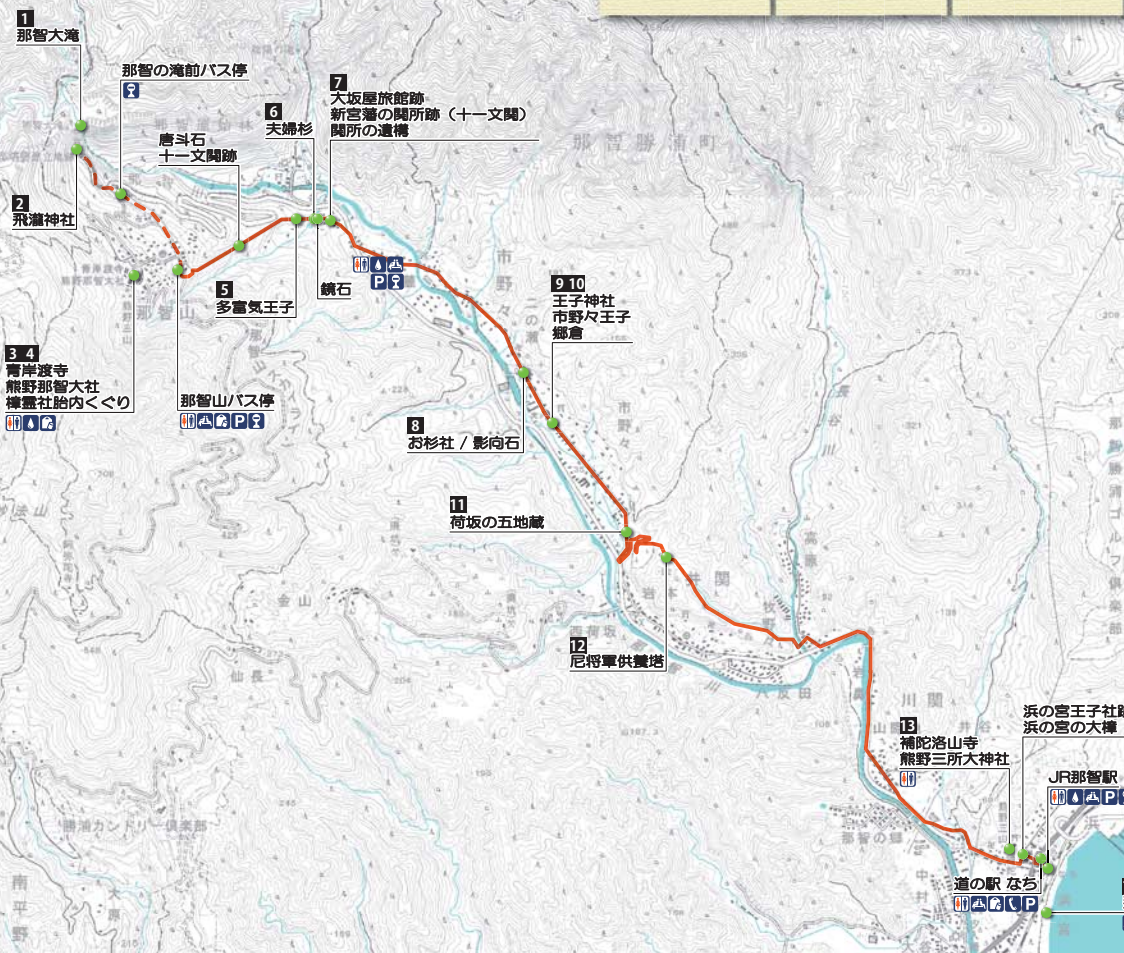
3 せいこんとし 青岸渡寺
西国三十三箇所巡りの1番目の札所。隣接する那智大社と共に創建は古く、古墳時代であるともいわれる。本堂は安土桃山時代の建立で、国の重要文化財に指定。



4 くまのなちだいしや 熊野那智大社
熊野本宮大社、熊野速玉大社と共に熊野三山と呼ばれ、熊野信仰の中心地とされる。かつては那智大滝のすぐ近くに本殿があり、滝自体を祀っていたといわれる。



5 たかふけおとしみと 多富気王子跡
九十九王子の1つ。社殿は明治時代に移され、現在は跡地に石礎と庚申塚のみが残されている。県の指定史跡。



6 めいとしき 天婦杉
大門坂の入り口に立つ推定樹齢800年のスキの巨木。聖域への門のように2本の巨木が並び立つ。

7 おおさかゆりよかんあと 大坂屋旅館跡
南方熊楠はこの旅館の離れを常宿として那智山中の植物調査を行った。旅館は大正に廃業し、熊楠の滞在した離れも昭和に焼失した。

8 おすぎやしろ お杉社
スキに囲まれた境内に、影向石(ようこういし)とよばれる石が祀られており、この石の上に天照大神が姿を現したという伝説がある。

9 おうじじんじや 王子神社
那智大社の末社であったといわれるが創建時期は不明。王子が置かれたこの地には、神々の使いとされる「八咫鳥(やたがらす)」の子孫が住むといわれている。

10 ごうくら 郷倉
郷倉とは江戸時代に設置された穀物を納める倉のこと。柱を1本も使っていない石積構造の郷倉は、各地に残る郷倉と比較しても類の無い珍しい構造である。

11 じさか 荷坂の五地藏
平安時代の武将で、笛の名手として知られた平政盛を供養するために建てられたと伝わる。政盛は「義経の逆落し」で有名なノ谷の合戦で亡くなった。

12 あましろうんくくろうどう 尼将軍供養塔
「尼将軍」として知られる北条政子が、殺された我が子を弔うために建てた供養塔。源頼朝の死後、息子達が謀殺されたのを嘆いて熊野詣に訪れたという。

13 ふたらくんじ 補陀洛山寺
本尊は十一面千手観音が平安後期の作と伝わる国の重要文化財。隣には熊野三所大神社があり、神仏混合の名残をみる事ができる。

14 なち 那智の浜
かつて、観音菩薩の住む淨土を目指して船出する「補陀洛渡海(ふたらくとかい)」が頻繁に行われていた浜。美しい白砂の海水浴場として親しまれている。

交通情報

▼起点：那智山/バス停 (那智勝浦町那智山)
・運行頻度：1日10~20本
・熊野交通(株)
TEL: 0735-22-5101

▼終点：JR那智駅 (那智勝浦町浜ノ宮)
・運行頻度：1日10~20本
・JR西日本
TEL: 0570-00-2486



注意事項

- ▼自然は私たちの貴重な財産です。木・草花・動物・岩石等の採取はせず、後世に残せるよう自然を大切にしましょう。
- ▼近畿自然歩道は地域の方の御協力により指定させて頂いているルートです。私有地へ立ち入る際は当該地で定められているルールに注意しましょう。
- ▼ゴミ・空き缶・ビン・ペットボトル類は必ず自分で持ち帰りましょう。
- ▼沿道の住人をはじめ他人の迷惑になるような行動は慎みましょう。
- ▼山岳地のコースなどでは、特に台風・大雨等の後は、落石・倒木・土砂崩れ等の恐れがあるため、十分注意してご利用下さい。
- ▼車道との兼用道もありますので、自動車等に注意してください。
- ▼交通の不便なところや足下の悪いところもあります。あらかじめ調べておきましょう。



凡例

- トイレ
- 水場
- 休憩所
- 売店
- 公衆電話
- バス停
- 駅

和歌山県
Wakayama Prefecture
環境生活総務課 自然環境室
〒640-8585 和歌山市小松原通1-1
TEL: 073-441-2779
FAX: 073-433-3590
Eメール: e0320004@pref.wakayama.lg.jp